

平成22年度
東葉高速線地域公共交通活性化・再生総合事業
実施報告書

目次

実施済み事業について

1. 第14回東葉サマーコンサート・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～ 4
2. ゆめ半島千葉国体開催に伴う記念事業・・・・・・・・ 5～15
3. 東葉・家族車両基地まつり・・・・・・・・・・・・・・・・ 16～22
4. 東葉ローズチケット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23～26
5. 東葉東京メトロパスキャンペーン・・・・・・・・・・・・ 27～29
6. ダイヤ改正に伴う配布用時刻表の作成・・・・・・・・ 30～31

実施中の事業について

7. モビリティマネジメントのリーフレットの作成・・・・ 32～33
8. コンコース行先表示器の設置・・・・・・・・・・・・・・ 34

1. 第14回東葉サマーコンサート

(1) イベント概要

①目的

夏の風物詩として沿線のみなさまに広く認知され、今年で14回目を迎えた「東葉サマーコンサート」を8月19日(木)、20日(金)の2日間開催した。

今年のサマーコンサートは、サブタイトルを各学校の演奏リレーで会場が一体となることをイメージして「心をつなぐ!音楽リレー」とし、司会者は、地元のケーブルテレビの方や大学生・当社の社員で行い、地域に根ざしたコンサートを目標とした。

また、地域の活性化及び東葉高速線の利用促進にも努めた。

②開催日

平成22年8月19日(木)、20日(金)

③開催時間

17:30~20:50(両日とも)

④開催場所

八千代緑が丘駅南側駅前広場

⑤出演校 19日(木)

高津中学校	吹奏楽部
八千代高校	吹奏楽部
八千代高校	鼓 組
船橋芝山高校	吹奏楽部
千葉英和高校	吹奏楽部

20日(金)

東葉高校	軽音楽部
萱田中学校	吹奏楽部
八千代東高校	吹奏楽部
秀明八千代高校	吹奏楽部
船橋東高校	吹奏楽部

⑥後 援

船橋商工会議所・八千代商工会議所

⑦協 賛

NPO 法人シティーデザインネットワーク八千代・(株)伊藤楽器・(株)サンカジロ・イオン八千代緑が丘ショッピングセンター・京成バラ園芸(株)・(株)小池電機・ネオス(株)・大塚製薬(株)・サントリーコーポレートビジネス(株)・キリンビバレッジ(株)・(株)ポッカコーポレーション(順不同)

(2) 実績

①来場者数 約 4,000 名 (両日合計)

(3) 広報活動

①ポスター掲出

東葉高速線各駅(公設掲示板を含む)・東葉高速鉄道車両車内中吊り・
新京成線各駅・千葉県・船橋市(出張所等を含む)・八千代市(出張所等を含
む)・出演校・船橋商工会議所・八千代商工会議所



ポスター (B1サイズ・片面フルカラー)



中吊りポスター (B3サイズ・片面フルカラー)

②ホームページ・サイト

東葉高速鉄道・千葉県観光協会・千葉プロモーション協議会・千葉日報ウ
ェブ・My Fun aねっと・まいふれ

③車内放送・店内放送

東葉高速線内・イオン八千代緑が丘ショッピングセンター内

④地元広報紙への掲載

広報やちよ・商工やちよ・やっぴい

⑤新聞社への情報提供

報道機関への投げ込み(県政記者クラブ、船橋市記者クラブ)

【掲載紙:日本経済新聞・千葉日報・産経ニュース〈ウェブ〉】

⑥PR用うちわ

東葉高速線各駅・船橋市(出張所等を含む)・八千代市(出張所等を含む)・
イオン八千代緑が丘ショッピングセンター・当日開催場所



(4) 当日の様子



吹奏楽の他に軽音楽と和太鼓の演奏も行われた



天候にも恵まれ、多くの方々が来場した



19日(1日目)は八千代市長と船橋市企画部長からご挨拶をいただいた

(5) 実施総括

当日は天候に恵まれ、両日で約4,000名という多くの方々が来場し、出演者の熱心な演奏に耳を傾け、大盛況に終わった。

来場者のアンケート結果からは、極めて好意的な反応をうかがうことができ、来場のきっかけでは、東葉高速線各駅のポスターを見て来たという方が半数近くいたことから、昨年度設置した公設掲示板の効果も大きいものと思われる。

また、当日サマーコンサート以外にも沿線で立ち寄る場所があると回答した方が7割近くにも上ったことから、地域の活性化にも結びつけられるイベントであった。

さらに、学校の入替わり時間を利用して公設掲示板や村上駅駐車場（パークアンドライド）のPRを行い、更なる地域の活性化及び東葉高速線の利用促進に努めた。

今回の開催も地元の方々の協力を得て開催したことから、地域を巻き込んだイベントとなった。

2. ゆめ半島千葉国体開催に伴う記念事業

ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会開催記念ウォーク

(1) イベント概要

①目的

千葉県での国体開催に合わせ、船橋市内の国体開催会場をコースに含め、国体を多くの沿線の方々に知っていただくとともに、国体を観戦する来場者のアクセスとして東葉高速線への利用を広く呼びかけ、併せて国体開催を通じて地域の活性化につなげていくことを目的とした。

②実施日

平成22年9月25日(土)

③コース

【天沼弁天池公園(スタート)】→【長津川親水公園】→【船橋市運動公園】→【御滝不動尊】→【高根木戸近隣公園】→【船橋市総合体育館】→【船橋日大前駅西口(ゴール)】(全長約11.7km)

④スタート受付時間

8時30分～9時00分

⑤ゴール受付時間

10時30分～13時00分

⑥参加方法

当日スタート地点に現地集合(事前申込不要)

⑦参加費

無料

⑧参加賞

東葉オリジナルピンバッジ、ボールペン、国体グッズ、飲料



東葉オリジナルピンバッジ



ボールペン



国体グッズ

⑨後援

ゆめ半島千葉国体実行委員会、ゆめ半島千葉大会実行委員会

ゆめ半島千葉国体船橋市実行委員会、ゆめ半島千葉国体八千代市実行委員会

NPO法人船橋レクリエーション協会

⑩協賛

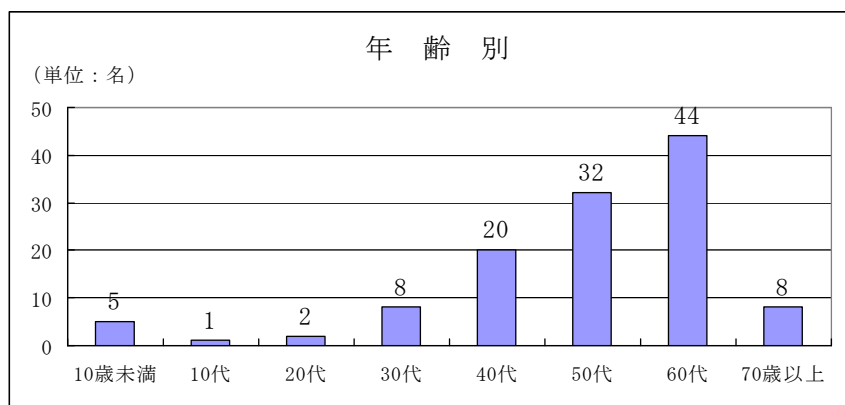
(株)伊藤園、ジェイティエースター(株)、ダイドービバレッジサービス(株)
利根コカ・コーラボトリング(株)

(2)実績

①参加者数

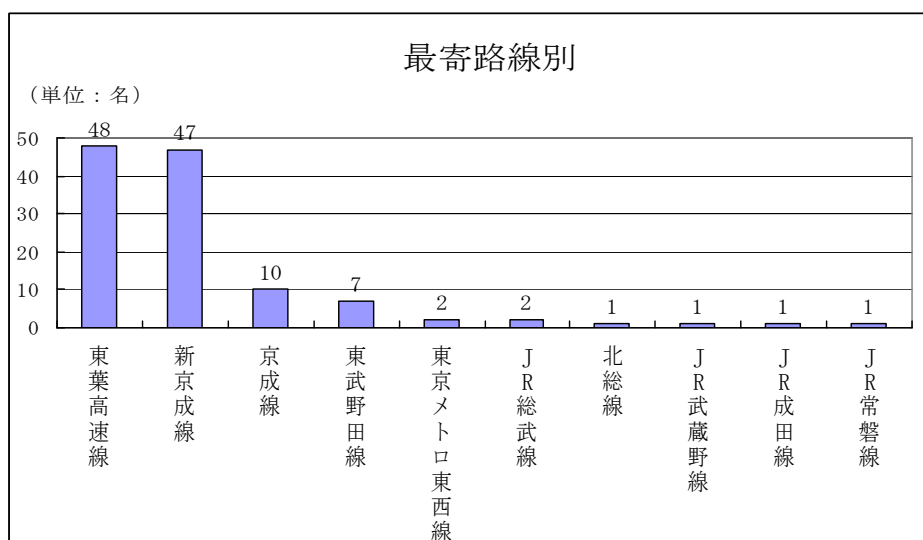
120名(男性：85名、女性35名)

(ア)年齢別

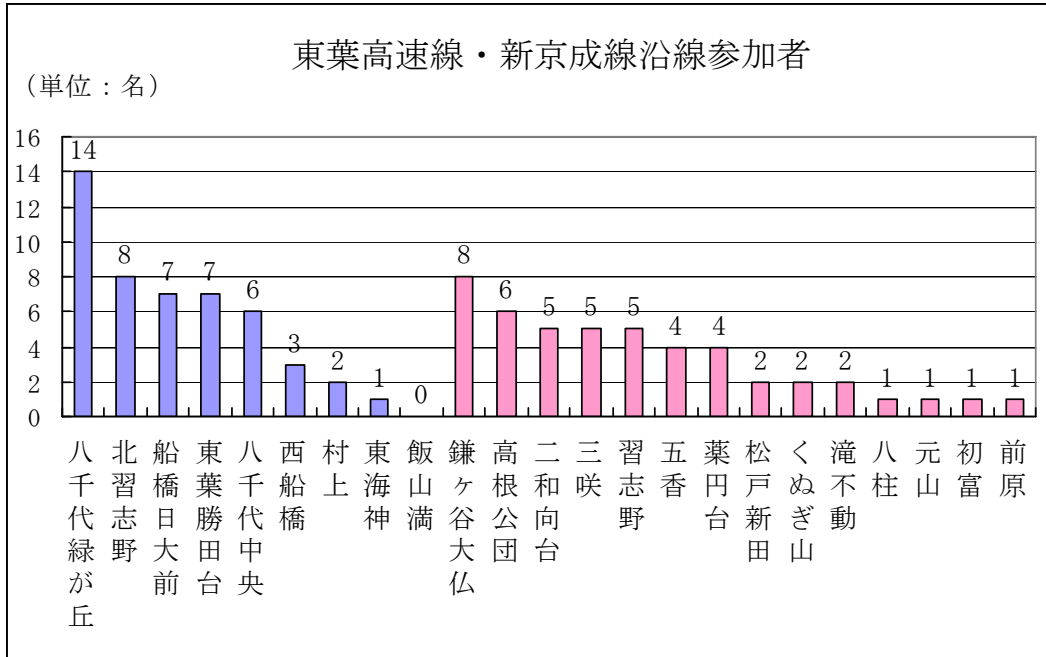


年齢別に見ると、60歳代が最も多く、次いで50歳代となっており、毎年のウォークイベントと同じ傾向を示している。

(イ)最寄路線別



最寄路線別に見ると、例年の傾向では当社線沿線からの参加者が圧倒的に多い傾向にあるが、今回は当社線沿線と新京成線沿線からの参加者がほぼ同じであった。これは、新京成線各駅での広報活動、コースが船橋市内であることが考えられる。なお、相互直通運転を行っている東京メトロ東西線沿線からの参加者が少なく、今後の課題である。



東葉高速線沿線からの参加者を見ると、八千代緑が丘駅が最も多く、次いで北習志野駅が続いている。新京成線沿線からの参加者は、鎌ヶ谷大仏駅が最も多く、次いで高根公団駅、二和向台駅、三咲駅、習志野駅が続いている。新京成線沿線からの参加者は、船橋市内又は船橋市に近い駅からの参加者が多い。

(3) 広報活動

①ポスター掲出

東葉高速線各駅（公設掲示板を含む）、新京成線各駅、船橋市及び八千代市の公共施設・東葉高速線車内中吊



公設掲示板



中吊広告（東葉高速線車内）

②チラシの配布

東葉高速線各駅、新京成線各駅、船橋市及び八千代市の公共施設



チラシ (左：表面 右：裏面)

③ホームページ・サイト

東葉高速鉄道(株)、ゆめ半島千葉国体実行委員会、
千葉日報ウェブ版、「船橋情報局ふなじょ (地元コミュニティサイト)」へ
の掲載

④車内放送

東葉高速線車内

⑤新聞社への情報提供

報道機関への投げ込み (県政記者クラブ、船橋市記者クラブ)
【掲載紙：産経新聞、船橋よみうり、千葉日報】

⑥地域新聞

東葉版、船橋東版、船橋南版、船橋西版、津田沼版、佐倉西版

(4) 当日の様子



スタート受付を待つ参加者



船橋市運動公園内を歩く参加者



コース途中の店で休憩する参加者



船橋市総合体育館（船橋アリーナ）へ進む参加者



最後尾を追尾するレクリエーション協会のスタッフ



ゴール後にアンケートを記入する参加者

車両ラッピング

(1) 事業概要

①目的

ラッピング電車は、国体のマスコットキャラクター「チーバくん」を活用した車体広告を当社所有の車両に行い、国体を多くの沿線地域の方々に知っていただくことを目的に実施する。併せて、国体を観戦する来場者のアクセスとして東葉高速線の利用を広く呼びかけ、国体開催を通じて地域の活性化につなげていくことも目的とする。

②運行期間

平成22年9月9日（木）～平成22年10月24日（日）

③運行区間

東葉高速線東葉勝田台駅～東京メトロ東西線中野駅

④ラッピング編成数

東葉高速2000系1編成（08編成）

⑤ラッピング箇所

- i. ヘッドマーク：前後各1枚 計2枚
- ii. シール：車両側面各7枚 計140枚（7枚×2×10両）

(2) 広報活動

①ホームページ・サイト

東葉高速鉄道株

②地元広報紙への掲載

広報やちよ

③新聞社への情報提供

報道機関への投げ込み（県政記者クラブ、船橋市記者クラブ）

【掲載紙：千葉日報】

(3) ラッピング電車外観



PR活動

(1) 事業概要

①目的

「ゆめ半島千葉国体」「ゆめ半島千葉大会」開催の周知を図るとともに、沿線にある競技会場へのアクセスとして東葉高速線を広く周知させ、沿線競技会場への集客を図ることで地域の活性化を目的とする。

(2) ケーブルテレビCM放送

①CM内容

東葉高速線沿線で開催される「ゆめ半島千葉国体」「ゆめ半島千葉大会」の競技紹介及び競技会場の案内

②CM放送時間

1 CMにつき30秒（静止画5枚、ナレーション付）

③CM放送期間

平成22年9月1日（水）～平成22年9月30日（木）

④放送地域

- ・千葉県：船橋市、八千代市、市川市、習志野市、浦安市
- ・東京都：江戸川区

⑤放送回数

- ・八千代市、浦安市、江戸川区：1日8回（合計240回）
- ・船橋市、市川市、習志野市：1日5回（合計150回）

⑥視聴可能世帯

約650,500世帯

⑦放映CM



(ナレーション)

東葉高速鉄道は、ゆめ半島「千葉国体」「千葉大会」に協力します！



(ナレーション)
 バスケットボール競技の男子の部が船橋市運動公園体育館と船橋市総合体育館で開催されます。
 女子の部は八千代市市民体育館での開催です。



(ナレーション)
 ウェイトリフティング競技の男子の部が千葉県立八千代高校を会場に開催されます。



(ナレーション)
 また、千葉大会のバスケットボール競技は船橋市総合体育館での開催です。



(ナレーション)
 大会会場へは、東葉高速鉄道をご利用ください！

(3) 地域新聞媒体

①掲載日

平成22年9月7日(木)、8日(金)

②掲載媒体

(株)地域新聞社が発行する地域新聞

③配布地域

当社線沿線とその周辺地域

	配布地域	配布部数
佐倉西版	【佐倉市】西志津、上座、ユーカリが丘、宮野台、上志津井野、中志津、稲荷台、八幡台、王子台、生谷染井野、新臼井台、江原新田	41,110
東葉版	【八千代市】大和田新田、高津団地、高津、萱田ゆりのき、米本団地村上団地、勝田台上高野、みはる野	54,617
船橋東版	【船橋市】習志野台、西習志野、芝山、新高根、高根台松ヶ丘、坪井東、坪井西	44,595
津田沼版	【船橋市】前原、中野木、駿河台、田喜野井、飯山満滝台、薬円台	37,540
船橋南版	【船橋市】海神、本町、栄町、湊町、市場、宮本、東船橋浜町、若松団地	36,365
船橋西版	【船橋市】海神、印内、古作、西船、葛飾、山野町	25,955
	合計配布部数	240,182

④地域新聞掲載広告

大会会場へは東葉高速鉄道をご利用下さい!!

ゆめ半島千葉国体2010

バスケットボール競技

2010年9月26日(日)～30日(木)

【最寄り駅】八千代中央駅:徒歩10分

ウエイトリフティング競技

2010年10月2日(土)～4日(月)

【最寄り駅】東葉勝田台駅:徒歩5分

ゆめ半島千葉大会2010

バスケットボール競技(知)

2010年10月23日(土)～24日(日)

【最寄り駅】船橋日大前駅:徒歩8分

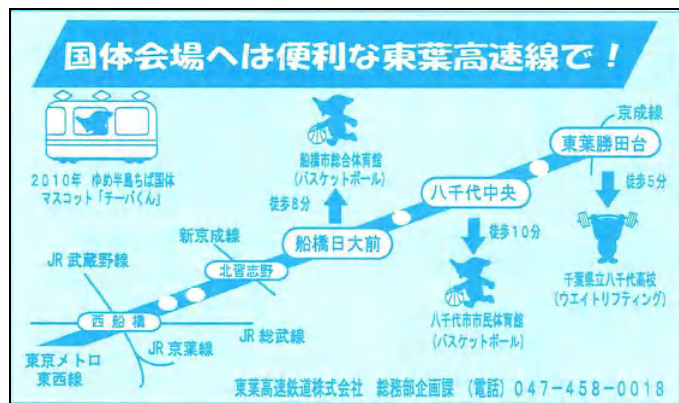
9月25日(土)記念ウォーク開催! 船橋市内の国体会場を巡る約12kmのウォーク。詳細は当社HP・駅貼りポスターをご覧ください。

(4) パンフレット等

- ①ゆめ半島千葉国体実行委員会事務局発行の「千葉の見どころ食べどころナビ」への広告掲載（配布部数50,000部）
- ②東京動物専門学校学校祭パンフレットへの広告掲載（配布部数60,000部）



掲載広告（千葉の見どころ食べどころナビ）



掲載広告（東京動物専門学校学校祭パンフレット）

ゆめ半島千葉国体開催に伴う記念事業の総括

千葉県での国体開催は、昭和48年の若潮国体以来、37年ぶりであり、県内各地で熱戦が繰り広げられた。東葉高速鉄道沿線においても、船橋日大前駅が最寄りの船橋市総合体育館、八千代中央駅及び村上駅が最寄りの八千代市市民体育館、東葉勝田台駅が最寄りの千葉県立八千代高校が競技会場として設定された。そこで、国体開催期間中は、鉄道利用者が見込めることから、これをビジネスチャンスと捉え、様々な施策を通じて国体のPRと東葉高速鉄道の利用促進に努めた。

毎年実施している「駅からウォーク」については、今年度は国体開催に合わせ、「ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会開催記念ウォーク」とし、国体のPR及び東葉高速鉄道沿線にある国体会場へのアクセスとして東葉高速鉄道の利用を広めることを目的に実施した。コースには船橋市内の国体会場である「船橋市運動公園」と「船橋市総合体育館（船橋アリーナ）」を含め、参加賞として「ゆめ半島千葉国体実行委員会」から提供していただいた国体グッズを用意した。また、各飲料メーカーの協賛、他社のウォークイベントの参加賞として定着しているピンバッジの用意、新京成線各駅や船橋市及び八千代市内の公共施設等での広報活動を行い、昨年度より参加者数の増加を目指した。しかし、各種の施策を行ったにもかかわらず、当日の悪天候の影響で想定していた参加者数を下回る結果となった。参加者数では想定を下回ったものの、ポスター、チラシ、車内中吊広告、関係機関のホームページへの掲載、各種報道機関への投げ込み等、積極的に本事業の啓発に努めた。また、東葉高速鉄道が掲げる「地域との共生」に基づき、地元船橋市で活動する「NPO法人船橋レクリエーション協会」と連携し、本事業の運営を行った。

車両ラッピングについては、ゆめ半島千葉国体のマスコットキャラクターである「チーバくん」を用いたヘッドマーク及び車体シールを東葉高速鉄道の車両に貼り付け、国体のPR及び国体を観戦する来場者のアクセスとして東葉高速鉄道の利用促進を図った。東葉高速鉄道が東京メトロ東西線と相互直通運転を実施していることから、東京都内を含め広範囲にPRすることができた。なお、ラッピング電車の運行期間中には、利用者から運行時間に関する問い合わせが複数寄せられ、一定のPR効果はあったものとする。

その他にもケーブルテレビでのCM放送、地域新聞媒体への広告掲載等、各種媒体を通じて国体のPR及び東葉高速鉄道の利用促進を図った。

各種の施策の結果、バスケットボール開催期間中に競技会場の最寄駅である船橋日大前駅、八千代中央駅及び村上駅を利用した定期外旅客数が合計で約8千名増加し、東葉高速鉄道の利用促進及び地域の活性化に寄与できたものとする。

3. 東葉・家族車両基地まつり

(1) イベント概要

①目的

東葉高速鉄道株式会社の車両基地を地域に開放し、近隣の方々との交流を図ることで東葉高速線に親しみを持っていただくとともに、イベント開催を通じて沿線の魅力を広くPRし、地域全体の活性化に寄与することを目的とした。

②開催日

平成22年11月7日(日)

③開催時間

11時～15時(入場は14時まで)

④開催場所

東葉高速鉄道 車両基地

⑤参加方法

当日自由参加(参加費無料)

⑥後援

船橋商工会議所/八千代商工会議所/緑が丘自治連合会/東京動物専門学校

⑦イベント内容

○車両洗浄機体験列車

来場者を乗せて車両洗浄機を通過する特別列車(2000系)を運転

12:45から先着777名に整理券を配付

○子ども制服撮影会

制服・制帽(それぞれ小学校低学年用・高学年用)を貸与

保護者等が各自のカメラにより展示車両前(東葉2000系・東京メトロ15000系)で撮影

11:00から先着55名に整理券を配付(配付場所は管理所前)

○車掌体験会

2000系の運転台を見学(車掌及び車掌経験者による解説付き)

ドアの開閉や車内アナウンスの体験

11:15、12:00、13:15からそれぞれ先着50組に抽選券を配付し、抽選により各回10組ずつ体験

○車両床下機器見学

車両の床下機器の見学(機器のフタを開け、説明書きを貼り付ける)

車両脇からの見学とし、車両下には潜らせない(ヘルメット着用は免除)

自由見学

- 保線用モーターカー試乗会
 - 工務区のモーターカーが牽引する軽貨車（ベンチ設置）に試乗
 - 総合案内所付近～随修場通り抜け～踏切付近間を往復運行
 - 受付は 14:30 まで
- レールカート試乗会
 - 工務区のレールカートに試乗
 - 総合案内所付近～自動車庫付近間を往復運行
 - 受付は 14:30 まで
- パンタグラフ・行先方向幕動作体験
 - パンタグラフの昇降と行先方向幕回転の操作体験
 - 受付は 14:30 まで
- 保守用車両展示
 - 保守用車両（工務区・電気区モーターカー他）、信号機等の屋外展示・動作実演
 - 自由見学
- レール削正車実演走行
 - 工務区車庫～随修場付近を往復走行しながらレールの削正を実演（11:30～12:00 頃）
 - 運行は業者（日本スペノ株）
 - 自由見学
- 鉄道模型運転
 - レイアウト上で鉄道模型（東葉に所縁のある車両）のデモ走行を実施
 - 運転体験希望者には 11:00 から先着 12 名に整理券を配付
- 模擬店
 - 【東葉高速グッズ販売会】**
 - 2000 系グッズ（B トレ、ボールペン、携帯クリーナー等）を販売
 - 使用済鉄道部品（カットレール、トロリ線、車両部品等）を販売
 - 【民鉄各社グッズ販売会】**
 - 新京成、北総、千葉モノ、いすみ、銚電、TX、富士急による自社グッズ販売
 - 【食品・飲物販売、農産物・特産品販売、展示会ほか】**
- 動物ふれあい広場
 - 東京動物専門学校による運営
 - 【無料】** 動物ふれあいコーナー
 - 【有料】** 記念撮影コーナー、乗馬コーナー、馬車コーナー、スーパーボールすくいなど

○管理所屋上開放

屋上を休憩所として開放

屋上へは外の非常階段から

※ 1階食堂を急病人救護所、授乳室として確保（開放せず個別に案内）

○その他

八千代市長による挨拶（総合案内所脇・14:00頃～）

(2) 実績

①来場者数

約 4,500 名

②グッズ販売会の売上

391,350 円（1,197 点・税抜 372,714 円）

③八千代緑が丘駅の定期外乗降人員（9時～17時）

前週比 33.0%増（1,721 名増）

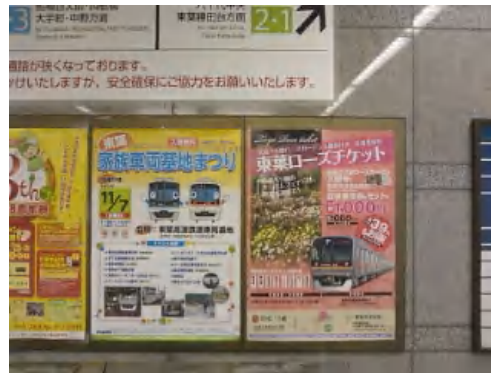
(3) 広報活動

①ポスター掲出

東葉高速線各駅（公設掲示板を含む）・東葉高速鉄道車両車内中吊り・
新京成線各駅・千葉県・船橋市（出張所等を含む）・八千代市（出張所等を含む）
・八千代商工会議所・緑が丘自治会館



▲ 東葉高速 2000 系車内（業務枠）への中吊広告掲出



▲ 東葉高速駅構内へのポスター掲出

②チラシの配布

東葉高速線各駅・新京成線各駅・北総線各駅・八千代商工会議所・
新京成及び千葉都市モノレールの車両基地イベントで配布



▲ 新京成車両基地イベント（10/16）でのチラシ配布

③ホームページ・サイト

東葉高速鉄道

④車内放送

東葉高速線内

⑤新聞社等への情報提供

報道機関への投げ込み（県政記者クラブ、船橋市記者クラブ）

【掲載紙:千葉日報、関東鉄道協会会報【No.129 秋号】】

⑥その他

八千代緑が丘駅周辺マンションへのチラシのポスティング

(4) 当日の様子

○受付



一般来場者の出入口である車両基地裏門。

先頭の人（昨年と同じ）は前日の 22 時から並んだそうで、開門前には家族連れなどで長蛇の列ができた。

帰りにはアンケート回収を行った。

○総合案内所



管理所前に設置した総合案内所。

今年は新たに大きな会場案内看板を設置した。

また、当日は問合せ電話番号の回線をここに引き込んで対応したほか、場内に流す BGM の調整もここで行った。

○車両洗淨機体験列車



今回の新イベント・車両洗淨機体験列車。
時速 5km で車両洗淨機を通過中。
車内では、車両基地や 2000 系車両の紹介
アナウンスも行った。

○子ども制服撮影会



子どもと電車の全景が写真に入るよう
に、ステップを使つての撮影を認めた。

○車掌体験会



係員が子どもに車掌室内の説明を行っ
た。

○模擬店



賑わう模擬店コーナー。
裏門に近い方（写真奥）に飲食関係、正門に近い方（同手前）に鉄道関係をまとめ、壁際に一列に配置した。
いずれの店でも商品が飛ぶように売れていた。
右端に1つ離れたテントが自社ブース。

○動物ふれあい広場



東京動物専門学校との協力による動物ふれあい広場。
子ヤギやウサギなどと自由に触れ合えるとあって、アンケートでは大変な人気を集めた。

○休憩コーナー



来場者用の休憩コーナーとして3間×5間の大型テントを2張設置した。
参加者が多くテントが混雑したため、空き地に座って休憩する来場者も見られた。

(5) 実施総括

昨年に引き続き 2 回目の開催となる今回は、各部署それぞれが前回の反省を活かしたことで、全体としてより円滑に運営することができた。

また、連続開催による来場者の“飽き”を避けるため、新イベントの積極的な導入とともに広報活動に努めた結果、昨年の実績を 1,000 名上回る 4,500 名の方にご来場いただいた。この来場者数は、恒例化している他社の車両基地イベントと比べても遜色がなく、かなり健闘した数字であると言える。

来場者に行ったアンケート結果からは極めて好意的な反応がうかがえ、ともすれば高運賃によるマイナスイメージが先行しがちな東葉高速鉄道にとって、こうしたイベントは有意義なことと思われる。

さらに、当日の会場最寄り駅の定期外乗降人員（9 時～17 時）が前週比で 3 割増となったほか、イベント帰りに沿線で買い物や食事などを予定している人が 7 割にのぼるなど、東葉高速線の利用促進と沿線地域の活性化に大きく寄与することができた。

ただ、ある程度の来場者の増加は想定していたものの、結果として参加カードの不足や飲料の売り切れといった課題も残った。

活性化協議会において作成した総合連携計画では、この車両基地イベントを 3 年連続して開催することとされている。3 回目となる来年については、これまでに蓄積したノウハウを活かしながら、より良いイベントを目指して取り組んでまいりたい。

4. 東葉ローズチケット

(1) 事業概要

① 目的

10月中旬～11月中旬の秋バラシーズンの到来を受け、沿線施設の京成バラ園の協力を得て、企画乗車券を作成・発売し、地域の活性化及び東葉高速線の利用促進を図る。

② 乗車券内容

- ・八千代緑が丘駅までの区間式乗車券 2枚
- ・ローズガーデン入園券 1枚

③ 発売期間

平成22年10月15日(金)～11月12日(金)
(京成バラ園のオータムフェア期間中)

④ 利用期間

平成22年10月15日(金)～11月12日(金)
※期間内1回に限り有効

⑤ 発売箇所

当社線各駅窓口(西船橋駅・八千代緑が丘駅を除く)

⑥ 発売数

1,000セット

⑦ 発売価格

1,000円(一律、大人のみ発売)
内訳 400円(割引後の往復運賃：平均割引率27.5%)
+
600円(ローズガーデン入園料：割引率25.0%)

※通常運賃・料金表

駅名	往復運賃	ローズガーデン入園料	通常料金合計	割引率
東海神	840円	800円	1,640円	39.0
飯山満	560円		1,360円	26.5
北習志野	400円		1,200円	16.7
船橋日大前	400円		1,200円	16.7
八千代中央	400円		1,200円	16.7
村上	560円		1,360円	26.5
東葉勝田台	700円		1,500円	33.3

(注)ローズガーデン入園料は、中学生(400円)・シニア[65歳以上](500円)・障害者(500円)があり、当企画乗車券を使用しない方がお得となる場合がある

⑧デザイン

上から：乗車券、ローズガーデン入園券、チケットケース



(2) 実績

①発売セット数 336セット (7 駅合計)

駅別発売セット数

駅名	東海神	飯山満	北習志野	船橋 日大前	八千代 中央	村上	東葉 勝田台
発売セット数	87	54	129	2	2	7	55

(3) 広報活動

①ポスター掲出・チラシ配布

東葉高速線各駅（公設掲示板を含む）・新京成線各駅・千葉県・船橋市（出張所を含む）、八千代市（出張所を含む）・京成バラ園



ポスター（B1 サイズ片面フルカラー）



チラシ（A4 サイズ片面フルカラー）

②ホームページ・サイト

東葉高速鉄道(株)・京成バラ園芸(株)

③新聞社への情報提供

報道機関への投げ込み（県政記者クラブ、船橋市記者クラブ）

【掲載紙:千葉日報】

④地域新聞媒体

株式会社地域新聞社による地域新聞を下の表及び別紙の範囲に配布

配布地域	部数
東葉版	41,110
佐倉西版	54,617
佐倉東版	44,617
津田沼版	37,540
船橋東版	24,346
船橋北版	31,670
合計	233,900

掲載サイズ 縦 137mm×横 254mm（フルカラー）



掲載イメージ

⑤その他（個人宅のポストへ直接投函）

飯山満駅周辺（芝山団地を中心に）及び東海神駅周辺（マンションを中心に）へチラシをポスティング

(4) 実施総括

沿線施設の京成バラ園のオータムフェアに合わせて、京成バラ園と企画乗車券関係では初めてタイアップし、「東葉ローズチケット」を発売した。発売期間は29日間で336セットを売り上げた。

発売期間前半の10月は、バラの見頃が例年より遅れたことと休日の天候不順により発売数が伸び悩んだ結果となった。後半の11月は、チラシを個人宅のポストに直接投函したことや地域新聞媒体を利用してPRの強化を図ったことから、1日50セットを売り上げる日もあり、徐々に発売数を伸ばしていった。

今回は、お客様の認知度を得られるまでに時間を要した結果となったが、地域新聞への広告掲載やチラシのポスティング等の広報活動を行うことによって、沿線地域の多くの方に対し、企画乗車券の認知度の向上につながったものと推察でき、今後の企画乗車券発売に大きく寄与したものと考えられる。

5. 東葉東京メトロパスキャンペーン

(1) 事業概要

①目的

「東葉東京メトロパス」の新規利用者の増加及び他社線からの流動による定期外旅客の増加を図ることを目的とした。合わせて、「東葉東京メトロパス」の認知度向上を図った。

②実施期間

平成 22 年 11 月 13 日（土）～ 平成 22 年 12 月 26 日（日）

③キャンペーン内容

キャンペーン期間中に東葉東京メトロパスを購入した方に対し、アンケート付応募用紙を配布し、記入していただいた応募用紙を東葉高速線各駅窓口（西船橋駅を除く）で回収する。応募者の中から抽選で都内施設の食事券等が当たる。

④抽選日

平成 23 年 1 月 14 日（金）

(2) 実績

①発売枚数

10,964 枚

(単位:枚)

駅名	22年度	21年度	差
東海神	436	369	67
飯山満	1,612	1,236	376
北習志野	2,857	2,237	620
船橋日大前	576	544	32
八千代緑が丘	2,192	1,933	259
八千代中央	1,735	1,704	31
村上	541	508	33
東葉勝田台	1,015	902	113
合計	10,964	9,433	1,531

②応募者数

1,748 名

(3) 広報活動

①ポスター掲出・チラシ配布

東葉高速線各駅・東洋バス車内・船橋新京成バス車内・船橋市・八千代市



ポスター（B1サイズ片面フルカラー）

バス車内でのチラシ配布の様子

②ホームページ・サイト

東葉高速鉄道・東京メトロ

③新聞社への情報提供

報道機関への投げ込み（県政記者クラブ、船橋市記者クラブ、国土交通省記者クラブ、ときわクラブ）

【掲載紙：産経新聞】

④新聞チラシ折込

読売新聞・朝日新聞・地域新聞・リビング新聞

⑤ポケットティッシュの配布

東葉高速線各駅等で東葉東京メトロバスの広告の入ったポケットティッシュを配布

⑥その他

- ・チラシのポスティング（東葉勝田台、八千代中央、八千代緑が丘各駅周辺）
- ・生活導線施策（八千代市を中心とした幼稚園に広告を配布し、有力ターゲットであるその保護者の口コミの宣伝効果を期待するもの：約4,440人を対象）



幼稚園配布物

(4) 実施総括

今回の「東葉東京メトロパスキャンペーン」は前年度に比べ、特に船橋市内（新京成線沿線）で広報の範囲を拡げたことから、新京成線との接続駅である北習志野駅で「初めて利用した」お客様の増加が目立った。

また、各駅の発売伸び率も、前年度に比べ「飯山満駅」、「北習志野駅」で大きな伸びを示したことから、船橋市内で広報の範囲を拡大した効果があったと思われる。

全体でも、前年度に比べ1, 531枚多く発売したことから、「キャンペーン」を行った効果があったと思われ、次年度についてもキャンペーンを実施していく予定である。

6. ダイヤ改正に伴う配布用時刻表の作成

(1) 事業概要

①目的

平成 22 年 12 月 4 日のダイヤ改正にあわせ、沿線の見どころを掲載した冊子型時刻表（第 9 巻）を作成し、お客様のサービス向上はもちろん、当社線の利用促進及び地域の活性化を図ることを目的とした。

②配布開始時期

平成 22 年 11 月 27 日（土）

③配布場所

東葉高速線各駅、船橋市及び八千代市の公共施設

④作成部数

40,000 部

⑤掲載内容（全 48 ページ）

- (1) 停車駅・路線図
- (2) 時刻表・平日/土休日
- (3) 東葉高速線運賃表
- (4) 東葉高速沿線案内「沿線おさんぽMAP」



- (5) おトクなきっぷのごあんない
- (6) 学期定期券のごあんない
- (7) PASMO のごあんない
- (8) 営業のごあんない
- (9) お問い合わせ

⑥サイズ（時刻表完成時）

A5



(2) 実施総括

今回の冊子型時刻表は、前回の冊子型時刻表になかった東葉高速線沿線の見どころを示した「おさんぽMAP」を新たに掲載し、利用者の方に東葉高速線沿線の魅力を知っていただくことを目的に作成した。

作成した40,000部のうち、約30,000部が配布済みであり、多くの方の目にこの「おさんぽMAP」が届いていることから、沿線の見どころの認知度向上につながったものと推察できる。

また、今回は効果を測定するため、時刻表の中にアンケートを入れており、現在収集中である。アンケートは、3月頃を目途に結果をまとめ、「おさんぽMAP」の効果を把握する予定である。

7. モビリティマネジメントのリーフレットの作成

(1) 事業概要

①目的

自家用車利用者を対象に移動手段に東葉高速線を利用していただけるようなリーフレットを作成・配布し、課題であるモビリティマネジメントの更なる認知度の向上を図ることを目的に実施する。

②リーフレットの内容

- ①モビリティマネジメントの説明（イメージ図を使用）
 - ②路線図
 - ③駅紹介
 - ④所要時間（速達性・定時性をPR）
 - ⑤各企画乗車券・回数券のPR
 - ⑥東葉高速鉄道の取り組み（村上駅のP&RのPR）
 - ⑦東葉高速線のPR（速達性・定時性等）
 - ⑧環境へのPR（交通手段別のCO₂排出量の比較）
 - ⑨駅別の所要時間・運賃・始発・終電時刻
 - ⑩各駅周辺の駐車場及び駐輪場（地図で表示）
 - ⑪駅別のバス案内（バス停案内は地図で表示）
 - ⑫運賃
 - ⑬アンケート
- ※収集方法はお客様の声のポスト等を利用

③作成部数

5,000部

④配布時期

平成23年2月

⑤配布方法

- ①東葉高速線沿線の商業施設や公共施設等
- ②村上駅駐車場のP&Rの東葉高速線利用率を向上させるために米本団地等の個人宅へポストイング

⑥サイズ（リーフレットの完成時）

A4（下図は昨年度作成したリーフレット）



(2) 今後について

平成23年2月の配布に間に合わせるよう現在リーフレットを作成中である。リーフレットは、東葉高速線沿線の商業施設や公共施設等で配布し、リーフレット付属のアンケートの収集を行い、効果の測定を行っていく。

8. コンコース行先表示器の設置

(1) 事業概要

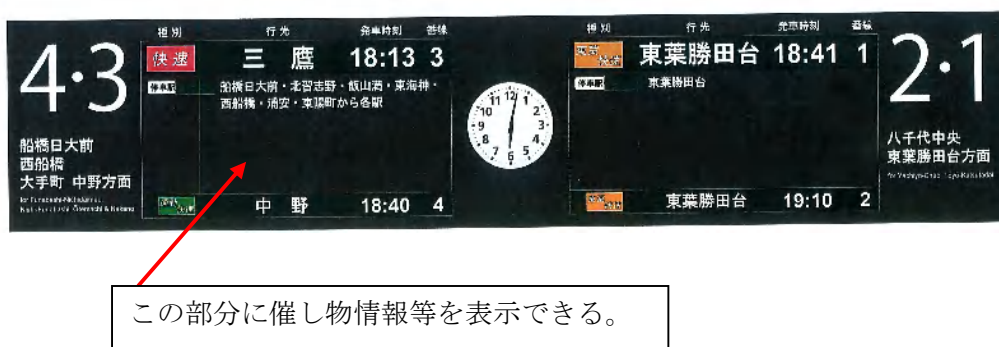
①目的

行先案内表示器を改札外コンコースに新たに設置し、運行情報や沿線の催し物情報の提供を行うことにより、地域の方々の利便性や交流の可能性を高め、東葉高速線の利用促進及び地域の活性化を図ることを目的とする。

②設置駅

八千代緑が丘駅、八千代中央駅、飯山満駅

③行先表示器の外観イメージ図



(2) 今後について

平成23年3月に運用を開始できるよう、現在工事に取り掛かっているところである。

改札外に設置することにより、東葉高速線の利用者のみならず、多くの方に催し物等の情報を提供することができる。

今年度は、八千代緑が丘駅、八千代中央駅、飯山満駅の3駅に設置するが、来年度は、船橋日大前駅、東海神駅、村上駅の3駅に設置し、東葉高速線の全駅（西船橋駅を除く）で改札外から行先表示器を見られるようになる。